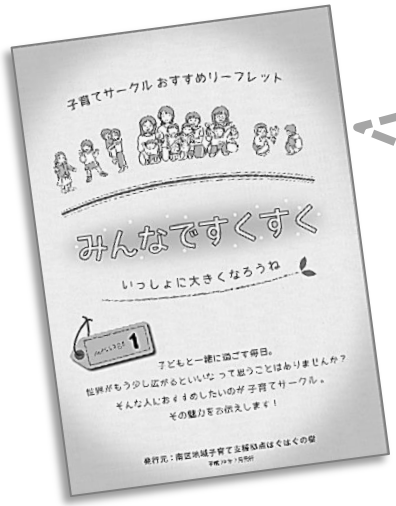
南区の子育て支援関係者のみなさん向け情報誌　第20号

にこで

～和　手～

2017年冬号　南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹　発行

インフルエンザが猛威を振るい、寒さが一層身にしみる今日この頃。外に出るのが億劫になりがちですが、「二月は光の春」といわれるように日差しには力強さが宿りつつあります。穏やかな時を選んで散歩に出かけてみませんか。春の足音が聞こえてくるかも・・・



サークル活動をオススメする リーフレットが新しくなりました！

「子どもといろいろ体験して楽しみたい」「近くに子育ての仲間が欲しい」などの目的で子育て中の親が集まり、協力して自分たちで遊びの場やイベントを企画運営するのが“子育てサークル”です。はぐはぐの樹では、こうした活動を広めていくためにサークルの魅力を伝えるリーフレットを作っています。そしてこの度、そのリニューアル版を発行しました。各支援場所にお届けしますので、ぜひご活用ください！

はぐはぐの樹主催　支援者向け講座　28年度その3

いろいろな家族のカタチ ～里親制度って？～

家族のあり方が多様化する中で、支援の場で出会う親子も複雑な家庭状況を抱えている場合があります。今回は「里親制度」とその家族の姿について学び、支援者としてどのようなサポートが出来るかを考えます。

日時：平成29年3月27日（月）
14時～16時（受付開始13時45分）
会場：はぐはぐの樹交流スペース
講師：一般社団法人こどもみらい横浜　普及啓発グループ
増子 ひとみ さん
参加費無料　先着20名

申込み：2月8日（水）から、電話（720－3655）
ファックス（715－3815）
メール（moushikomi@haghagnoki.jp）で
①氏名　②連絡先電話番号
③所属または居住区　④講師への質問等
＊保育はありませんが、お子さん連れで参加したい方はご相談ください。

最近のサークル事情は…

南区の子育てサークルは、もともとは比較的近隣に住む親子が地域の中の公共施設や町内会館・公園などで集う、いわゆる『地縁型』が多くありましたが、最近はその数は減っています。その背景としては、

1）幼稚園の３年保育や保育所を選ぶ子育て家庭の増加
2）子育て広場や地域サロンなど、乳幼児親子の居場所の充実
3）インターネットの普及による交流・情報交換方法の変化

などが挙げられると思います。そうした中でも、息の長い充実した活動を続けている『地縁型』サークルがいくつかあります。

また、親の興味関心（英会話・体操・ヨガ等）や子どもの育ちの特性が似ているといったことで集う『テーマ型』のサークルも誕生して活発な活動を行っています。

親子同士が一緒になって、様々な体験ができる場を自分たちで作っていく子育てサークルの活動はその意義がますます高まっています。はぐはぐの樹では、引き続き積極的に応援していきます！

「親子の居場所・サロン交流会」　開催報告

12 月 13 日（火）南区役所 701 において 28 年度の「親子の居場所・サロン交流会」を開催しました。サロン関係者 11 名とオブザーバーとして地域ケアプラザや南区社会福祉協議会から 8 名が参加しました。主な内容は以下の 3 つでした。

子育て支援者事業の紹介

2 名の支援者さんから、地区センタープレイルーム等、区内 8 カ所で週 1 回行っている「ママと子のホッとタイム」の様子や、活動場所に出向くこともできるグループ支援について説明がありました。子育てサロンも支援対象になっているので、運営についてアドバイスが欲しい時には、区役所のこども家庭支援課に申込みしてください。また、身近なものを使った遊びの紹介や手遊びも披露してくださいました。

サロンでの防災について

サロン開催中に発災した場合を想定した備えとして何が出来るかということと、子育て家庭に必要、且つ取り組みやすい日常の防災対策で、サロンを通じて情報提供したり体験できる機会を作るなど、どんな取り組みができるかをグループごとに話し合いました。

新たな担い手をふやすには？

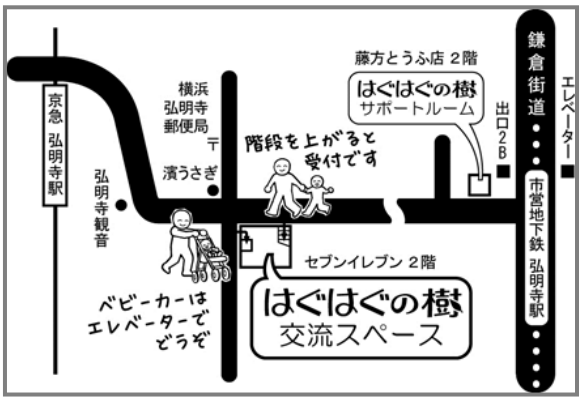
地域福祉保健計画重点目標 3 を参考に、グループに分かれそれぞれサロンで取り組んでいることについて情報交換を行いました。サロン参加者が、やがて支える側になるような働きかけについての事例が出され、参加者の関心が高く、情報交換が盛んでした。

「防災の事や担い手の事などいつも気になっていたことが、他のサロンの方も同じだったと分かりました。手遊びや遊び用具を見せて頂いたのも良かったです。（参加者アンケートより）

支援者向け講座②報告　「次回につなげる言葉がけの大切さを実感しました！」

12 月 16 日大岡地区センター中会議室で、NPO 法人ひだまりの森の代表 林 順子さんを講師に迎え『つながる声 つなぐ心　電話相談の実践から考える”顔が見えない”親子への支援』を開催しました。南区内外から様々な子育て支援の現場に関わっている方々20 名が参加し、林さんのお話に熱心に聞き入っていました。後半は、相談者への具体的な言葉がけについて考えるグループワーク。積極的な意見交換で大いに盛り上がりました。

【参加者の感想（一部抜粋）】★色々な立場の方からの事例検討、とても勉強になりました。そして、どの立場の支援者でも相談者への共感が第一になっている事を知りました。　★電話でここまで支えることができる（林さんのお力が大きいと思いますが）と知り勇気をもらいました。現場で生かしたいです。　★グループワークをしてストーリーを考えながら、検討するのは大事だと思いました。相談者が最終的に決められる自分の考え気持ちをまとめられる声がけが、少しでも出来ればと思います。



年 4 回発行しています。ご意見やご感想をお寄せください。また、はぐはぐの樹ホームページにバックナンバーを掲載しています。

「にこで～和手～」第２０号
【発行】
南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹（サポートルーム）
〒232-0056　南区通町 4-115　アイルイン弘明寺２階
TEL:720-3655　FAX:715-3815
MAIL：info@haghagnoki.jp